

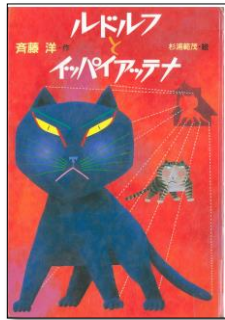


夏休み、どの本よもうかな？ (3、4年生)

ルドルフとイッパイアッテナ

さいとうひろし さく すぎうらはん も え こうだんしゃ
斉藤洋／作 杉浦範茂／絵 講談社 (J 913/サ)

魚をぬすんで、トラックににげこんだ黒ねこのルドルフは、住んでいた町をはなれて、東京に来てしまいました。そこで、大きなトラねこのイッパイアッテナに出会い、都会でノラねことして生きていくために必要なことを学びました。



先生、感想文、書けません！

やまもとえつこ さく さとう まき こ え どうしんしゃ
山本悦子／作 佐藤真紀子／絵 童心社 (J 913/ヤ)

夏休みの登校日、みずかは、クラスで一人だけ、読書感想文を書いてきませんでした。本を読むことは好きなのに、感想文を書こうとすると、おもしろかった気持ちがしゅるしゅると、消えてしまうのです。そこで、みずかは、ある方法を考えました。



おじいちゃんのおばけのはなし

ジェームズ・フローラ／さく こみやゆう／やく
だいにほんとしょ
大日本図書 (J 933/フ)

おじいちゃんが子どものころの話です。あらしの中、森でまいごになったおじいちゃんは、古い小屋で皮のふくろをみつけました。ふくろの中には、ほねがいっぱい入っていました。するとそのとき、小さな声が聞こえました。



やまなしもぎ

ひらのただし さいわ おおただいはち が ふくいんかんしよてん
平野直／再話 太田大八／画 福音館書店 (Eみんわ)

病気のお母さんに食べてもらうため、三兄弟は、「やまなし」をさがしにいくことにしました。一番目のたろうが出かけ、二番目のじろうが出かけましたが帰ってきません。三番目のさぶろうは、ぶじに帰ってこられるでしょうか。



「あな」の本

地下から宇宙まで…どこもかしこもあなだらけ！

ノラ・ニッカム／さく ロバート・メガンク／え やぎ ききょうこ やく
フレール館 (J 450/ニ)

私たちのまわりには、たくさんの「あな」があります。はりのあなや生き物があけたあな。人間がほった深いあなもあれば、海のそこでみつけた大きなあなもあります。いろいろな「あな」を楽しくしょうかいした本です。



海でつばさを手に入れる

5300万年前に始まったクジラの挑戦

なかむらげん さく み の わ よ し た か え り ろん し ゃ
中村玄／作 箕輪義隆／絵 理論社 (Eちしきーオレンジ)

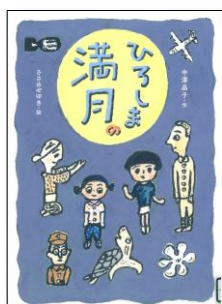
恐竜が滅びたあと、ほにゆう類の一部は、水辺で魚を捕まえるようになりました。水の中で豊富なエサを食べ暮らしたので、5300万年後の今は、最大30メートル、鳥のつばさのような胸びれをもつクジラに進化しました。



ひろしまの満月

なかざわしよこ さく ささめ や ゆ き え こみねしよてん
中澤晶子／作 ささめやゆき／絵 小峰書店 (J 913/ナ)

「まめ」は、人と話をすることができるかめです。かえでちゃんと出会い、むかしのことを少しずつ話しはじめます。それは、心がばりばりとやぶれてしまうくらい、かなしい思い出でした。



牛をつないだ樁の木 「新美南吉童話選集2」

にいみなんきち さく まきのちほ え しや
新美南吉／作 牧野千穂／絵 ポプラ社 (J 913/ニ)

街道を行き来する人は、近くに水を飲むところがなく、こまっていました。海蔵さんは道ばたの樁の木のそばに、みんなが水を自由に飲める井戸をほりたいと考えます。海蔵さんはせつやくをして、コツコツとお金をためますが…。

